

令和5年度 全国学力・学習状況調査の本市における結果について

常陸太田市教育委員会

『夢を育む 明日が待たれる魅力ある学校づくり』

1 調査実施日 令和5年4月18日(火)

2 調査対象 小学6年生(252人) 中学3年生(279人)

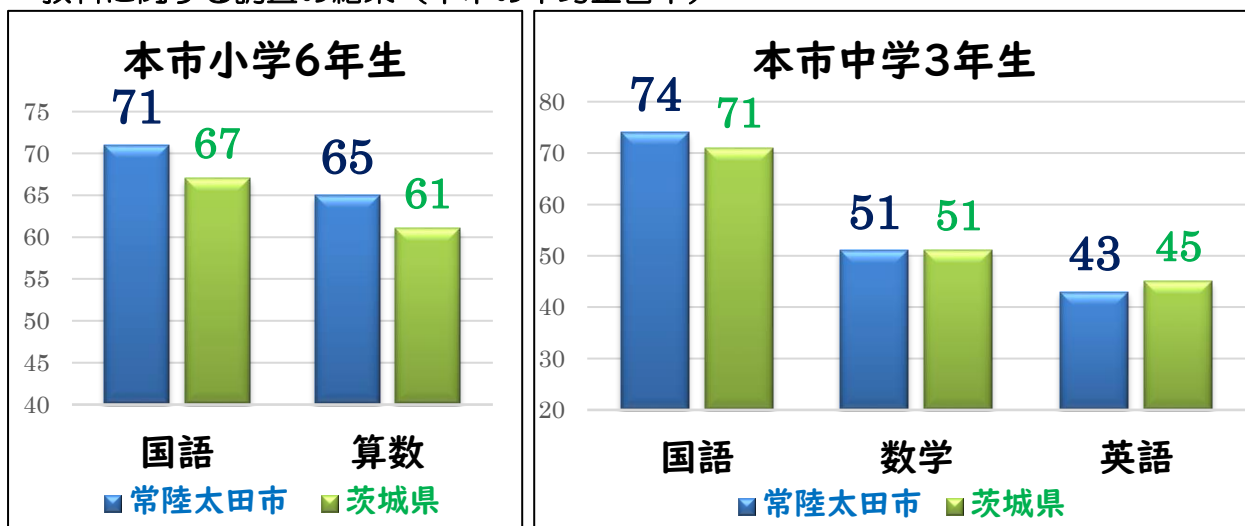
3 調査の内容

① 教科に関する調査

小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語

② 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

4 教科に関する調査の結果(本市の平均正答率)



令和5年度	国語	算数・数学	英語
本市小学6年生	71(+4)	65(+4)	
県小学6年生	67	61	
本市中学3年生	74(+3)	51(±0)	43(-2)
県中学3年生	71	51	45

※ 英語オンライン(話すこと・聞くこと)調査

全国・県平均 0.5/5問 → 本市 1/5問 抽出校のみ集計

5 教科に関する結果分析の概要

令和5年度の本市の結果は、小学6年生の国語と算数、中学3年生の国語で県平均正答率を大きく上回りました。また、中学3年生の数学が県平均と同値、英語においては、県平均を下回る結果となりました。

教科別の分析結果及び改善へ向けての手立てについて記述いたします。

(1) 小学校 ※ () 内の数字は、問題の設問番号を表しています。

○ 国語



【結果】 県平均正答率比較 +4

【成果】 話や文章の中心となる語や文を捉える力が高まっている。

- ① 文章の種類と特徴の説明として適切なものを選択する問題 (1四)
81.0% (県 80.3%)
- ② 2つの資料に書かれた内容として適切なものを選択する問題 (2一)
93.1% (県 90.2%)

【課題】 複数の情報を整理し、自分の考えをまとめたり、書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

- ① 原因と結果等の情報と情報との関係について適切なものを選択する問題 (1一)
63.6% (県 66.4%)
- ② 空欄に米作りの問題点と解決方法を自分の考えが伝わるように書く問題 (1二)
39.8% (県 35.5%)
- ③ 相田さんが情報をどのように整理しているか説明したのものとして適切なものを選択する問題 (2三) 59.7% (県 62.1%)

【改善へ向けて】

☆ イラストや写真を言葉だけで説明するとき、なかなか伝わらないことがあります。そのとき、伝える相手が知っていることと結び付けて説明すると伝わりやすくなります。また、自分の考えを伝える根拠(資料等)を示すことで説得力が高まります。日頃、「読書」をする時間を取り入れると頭も心も耕されます。

○ 算数



【結果】 県平均正答率比較 +4

【成果】 式を日常生活に関連付けて読み取る力が高まっている。

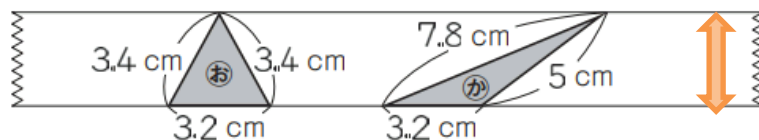
- ① 5脚の椅子を重ねたときの高さを求める問題 (1(1)) 95.2% (県 92.3%)
- ② 椅子の数が2倍になっても高さは2倍にならないことについて説明する問題 (1(2)) 93.5% (県 86.4%)

【課題】 図形を構成する要素に着目し、図形の性質や軽量について考察することに課題がある。

- ① 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの角の大きさを書く問題 (2(3)) 25.5% (県 23.6%)
- ② テープを直線で切ってできた三角形の面積の大小について分かることを選択する問題 (2(4)) 29.9% (県 25.3%)

【改善へ向けて】

☆ 算数は、図形や割合等、日常生活でも活用できることが多くあります。下図は (2(4))の一部です。㊦・㊧の面積は等しいのですが、「高さ」が表記されていないため、「比べられない」と誤答した児童が多く見られました。視点を変えて考える、適当な数値を当てはめる等、思考の切り替えが大切です。



テープはどこでも同じ太さ
(ここでは高さ)になるね。





三角形の高さが書いていないと「解けない」と思っちゃうよ。
テープはどこも同じ太さで、それが高さになることに気が付かなかったよ。

普段何気なく見たり、使ったりしているものって、「当たり前」のことだから、気づきにくいのかもね。でも、よく見て考えると分かることもあるね。



「いつも」、「当たり前」のことを普段から、じっくりと見たり、ていねいに考えておいたりするといいんだね。

(2) 中学校

○ 国語



【結果】 県平均正答率比較 +3

【成果】 目的や場面に応じて質問する内容を検討する力が伸び、事象や行為・心情を表す語句についての理解力が高まっている。

- ① インタビュー前に準備したメモについて説明したものを選択する問題 (1一)
91.4% (県 87.9%)
- ② 「落胆する」の意味として適切なものを選択する問題 (2一)
92.6% (県 90.9%)

【課題】 文章を読んで理解したことから、自分の考えを広げたり、深めたりするとともに、目的や意図に応じた表現かを推敲することに課題がある。

- ① 自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く問題 (2四) 66.0% (県 66.7%)
- ② レポートの下書きの一部を直す意図として適切なものを選択する問題 (3一)
51.6% (県 53.4%)

【改善へ向けて】

☆ 文章を読んで自分の考えを広げたり、深めたりするためには、文章の内容を理解するだけではうまくいきません。自分もっている知識やこれまでの体験と結び付けることによって、理解したことや考えたことを、具体的で明確なものにすることが重要です。

○ 数学



【結果】 県平均正答率比較 ±0

【成果】 基礎的・基本的な計算技能が身に付いている。また、問題場面における考察の対象を明確に捉える力が高まっている。

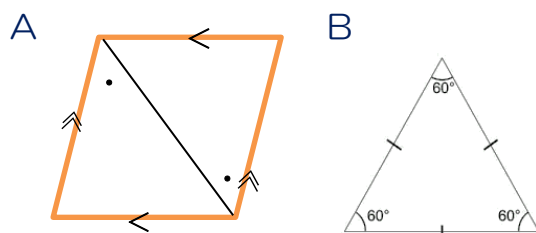
- ① $12(x/4 + y/6)$ を計算する問題 (2) 78.2% (県 76.7%)
- ② はじめの数が 11 のとき、はじめの数にける数が 2、たす数が 3 のときの計算結果を求める問題 (6(1)) 92.2% (県 88.4%)
- ③ 1961 年～1975 年の四分位範囲を求める問題 (7(1)) 78.2% (県 66.6%)

【課題】 図形領域全般において課題が見られる。

- ① 空間における平面が1つに決まる場合について正しい記述を選択する問題 (3) 32.5% (県 28.7%)
- ② 2つの直線が平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明する問題 (9)(1) 29.6% (県 29.6%)
- ③ 二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く問題 (9)(2) 37.4% (県 37.0%)

【課題改善へ向けて】

- ☆ 図形が苦手な場合は、図形における定義や定理を確認することが大切です。
(辺の長さや関係、角度の大きさ等)



※ 下の特徴は図Aを表しています。

- 2組の対辺が平行で長さ等しい
- 2組の対角が等しい
- 対角線がそれぞれの中点で交差
- 1組の対辺が平行でかつ長さが等しい

- ☆ ある事柄の条件を変えた場合について考察する場面では、証明を振り返り、証明に用いた特徴や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することが大切となります。

○ 英語

【結果】 県平均正答率比較 **-2**



【成果】 社会的な話題について、短い説明や文章の要点を捉える力が伸びている。

- ① 水資源に関する話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する問題 (4) 58.0% (県 56.7%)
- ② 事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表す英文を選択する問題 (5)(2) 63.8% (県 63.0%)
- ③ ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する問題 (8)(1) 54.3% (県 58.3%)

【課題】 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させることに課題がある。また、自分の考えを整理し、まとまりのある英文を書くことも同様である。

- ① 英語を適切な形に変えたり不足している語を補ったりして会話が成り立つよう正確に書く問題 (9)(1)① 33.7% (県 38.1%) (9)(1)② 17.7% (県 19.6%)
- ② 学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明する文章を書く問題 (10) 7.0% (県 7.7%)

【課題改善へ向けて】

- ☆ 英語を丁寧に書き、正確に表現することを苦手と感じる生徒が見られます。英語を書く時間が大切です。加えて、自分の考えを英語で書くときには、「なぜそのように考えたのか」という理由を、英文の書き手の考えや意見を踏まえて書くことが重要です。

6 生活習慣や学習環境に関する調査結果 ～市学校教育指針との関連から～

質問項目 ※「あてはまる」及び「どちらかと言えばあてはまる」の割合= %	本市小学6年			本市中学3年			
	市平均	差(県)	県平均	市平均	差(県)	県平均	
夢育	将来の夢や目標を持っていますか	89.5	6.2	83.3	69.7	1.7	68.0
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	99.6	4.0	95.6	94.8	0.2	94.6
徳育	自分には、よいところがあると思いますか	87.4	5.3	82.1	84.0	5.5	78.5
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.6	2.6	97.0	96.0	0.5	95.5
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	89.5	10.4	79.1	76.9	11.5	65.4
	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	90.7	5.8	84.9	93.3	6.5	86.8
知育	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	87.3	9.4	77.9	80.5	3.3	77.2
	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	82.2	4.8	77.4	72.5	10.5	62.0
	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	97.4	1.7	95.7	96.4	1.5	94.9
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	86.9	6.2	80.7	71.7	11.2	60.5
	読書は好きですか	77.7	6.2	71.5	70.2	3.6	66.6
体育	朝食を毎日食べていますか	98.4	4.3	94.1	97.2	5.3	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.1	4.4	81.7	82.9	4.1	78.8
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.9	-1.2	91.1	95.3	3.3	92.0
その他	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	89.1	13.0	76.1	88.4	12.7	75.7
	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	90.3	10.5	79.8	72.5	10.2	62.3

7 生活習慣や学習環境に関する調査結果分析

- 「人の役に立つ人間になりたい」と考えている児童生徒の割合が高いこと
- いじめはどんな理由があってもいけないという概念が定着していること
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」、「その他」の項目の結果から、地域に対する愛着や誇りをもつ児童生徒の割合が高いこと
- 基本的な生活習慣が確立している児童生徒の割合が高いこと

今年度は、「地域や社会との関わり」に対する意識が、県の平均値と比べ、高い特徴が見られました。「ふるさと教育」における小中連携の取組の成果が数値となって表れてきたと言えます。地域が児童生徒の心の拠り所となっていることが分かります。

保護者の皆様、地域の皆様へ

日頃より本市教育活動へのご理解・ご協力、誠にありがとうございます。学校教育は、児童生徒の将来の夢の実現に向けて、一人一人の児童生徒に寄り添いながら、必要な徳育、知育、体育の面で支援を続けていきます。

本市教育の推進に今後とも、ご理解・ご協力をお願いいたします。

